

# 2024年度JICA北海道(札幌) 異文化交流プログラム募集要項

## 1. 目的

- 1) 近年、各校で取り組みが盛んになってきている国際理解教育への支援事業の一環として、地域の児童・生徒と、道内に在住する外国人との交流の場を提供しています。交流を通して、外国や異文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築くことを目的としています。※語学習得(特に英語)をねらいとするものではありません。
- 2) 児童・生徒との交流を通して、外国の方が日本文化・日本人とのコミュニケーションを実体験し、日本についての理解を深める機会ともしています。

## 2. 内容

JICA研修員または道内に在留する外国の方が学校を訪問し、児童・生徒と交流します。当日は、本事業の委託先の職員と必要に応じて通訳(1名)が同行する予定です。

- 1) プログラム作成にあたっては、児童・生徒による事前学習の発表の場となるだけでなく、派遣された外国の方も参加や体験ができるプログラムとなるようご注意ください。インタビューやお互いの国紹介のみではなく、児童・生徒のみなさんと外国人の方が文化や遊びを通して直接交流できるような内容をご検討ください。
- 2) 事前に出来る限り参加外国人の出身国や異文化理解に関する学習をしていただき、交流プログラムが効果的に実施されるように企画してください。交流の経験が児童・生徒の異文化理解や外国への興味喚起、また国際協力へのきっかけとなるよう、事前・事後学習の流れの中で本プログラムを位置付けていただくようお願いします。
- 3) 事前・事後学習の取り組みとして、「JICA国際協力出前講座」「ほっかいどう地球ひろば訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。青年海外協力隊OBの体験談や開発教育ワークショップを取り入れた学習により効果的な取り組みが可能となります。「JICA国際協力出前講座」「ほっかいどう地球ひろば訪問」の詳細につきましては、JICA北海道(札幌)ホームページをご参照ください。
- 4) 児童・生徒が2つ以上のグループに分かれて交流する場合など、追加の通訳者が必要な場合は学校側で手配していただきます。通訳者の手配が難しい場合は、通訳が1名で成り立つ内容の企画をお願いします。(通訳者の手配に際しては、依頼先のご紹介などご相談に応じます。)また、同行する通訳が発表の通訳を行う必要がある場合、発表原稿は実施1週間前までに担当者へお送りください。
- 5) 訪問時間は午前10時以降午後4時までの間で最長2時間となります。研修コースが訪問する場合、午前・午後にもその他の研修が行われる場合も多く、応募用紙に午前・午後の記載がある場合は、午前:10:00~12:00頃、午後:13:30~16:00頃の中で2時間の訪問をご想定ください(到着から学校出発までの時間となります)。
- 6) 訪問する外国人の出身国・地域・人数・言語を選ぶことはできません。ご了承ください。

## 3. 訪問先範囲

JICA北海道(札幌)から車で片道1時間半以内で移動が可能な地域、石狩振興局管内全地域、空知総合振興局管内の一部(岩見沢市、美唄市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町、滝川市、夕張市など)、後志総合振興局管内の一部(小樽市、余市町、赤井川村など)及び胆振総合振興局管内の一部(苫小牧市、白老町、登別市、厚真町、安平町など)にある小・中・高校・特別支援学校を対象とします。

※対象地域かの判断が難しい場合はお問い合わせください

## 4. 経費

- 1) 謝金は一切発生しません。外国の方及び同行者の移動にかかる経費は、原則全てJICAが負担します。
- 2) 交流に必要な消耗品等については、学校側でご用意ください。
- 3) 学校側で通訳ボランティアを手配した場合の経費(交通費、有償の場合の人件費等)については、学校側での負担をお願いします。

## 5. 研修員・在住外国人について

研修員とは、開発途上国の技術者・行政官などを対象にJICA北海道(札幌)で行っている研修の参加者です。研修は1カ月前後での日本滞在が多く、日本語を話すことは難しく、研修コースによって、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語などを使用し、研修を行っています。

道内在住の外国人の方が訪問する場合は、道内で留学や就労している外国籍の方が学校を訪問します。日本語を話せる方が多いため、日本語でのコミュニケーションが可能な場合、通訳の同行はいたしません。

## 6. 学校訪問までの流れ

学校訪問決定までの事務手続き・お問い合わせ等につきましては、当事業を委託されている公益社団法人 青年海外協力協会が担当します。

1	申込	「2024年度JICA異文化交流プログラム申込用紙」に必要事項を入力し、所定の申込先までメールにてお申込みください。【3月15日(金)締切】
2	選考	選考結果につきましては、3月下旬に各応募学校へメールにてご連絡します。 選考を通過した学校については、通知の際に実施予定時期をお知らせいたします。
3	説明会の実施	選考を通過した学校のご担当者様はオンライン説明会【4月中旬予定】へのご参加をお願いします。 これからの流れ、企画の際の注意事項などをお伝えさせていただきます。
4	日程の調整	(順次) 具体的な訪問日程の調整をするため、ご連絡をさせていただきます。研修コースによっては、スケジュールの確定が約2カ月前となる場合がございます。
5	企画書の提出	(1ヶ月前) 学校担当者より、日程案・計画をメールで提出していただきます。
6	事前打合せ	(1ヶ月前) 電話・メール等でプログラム内容の検討及び当日準備するものの確認等を行います。
7	事前顔合わせ	(場合によって) 内容が難しい場合などに、当日の流れ、当日までに訪問する外国人の方へお願いしたいことなどをJICA北海道センターまたはオンラインにて、ご説明いただく場合がございます。 ※2023年度、実施した学校はございません
8	通訳原稿送付	(場合によって) JICAから同行する通訳(1名)が児童・生徒の発表を通訳する場合などは、1週間前までに発表原稿をお送りいただきます。また、通訳量があまりに多いと、通訳者の負担となる場合がございます。恐れ入りますが、通訳量へのご配慮をいただけますと幸いです。
9	JICA異文化交流プログラム当日	
10	報告書の提出	(約1ヶ月以内) 「JICA異文化交流プログラム報告書」及び「JICA異文化交流プログラムアンケート」をご提出いただきます。

## 6. 応募方法

【2024年度JICA異文化交流プログラム申込用紙】に必要事項を入力し、下記申込先までメールでお申込みください。

## 7. 選考方法

応募多数の場合、提出書類を次の観点から審査し、訪問校を決定いたします。

- 1 提出書類に不備がなく、締切日が守られていること。
- 2 JICA異文化交流プログラム活用の動機や目的が、事業のねらいと合致していること。
- 3 国際理解教育に学校全体で意欲的に取り組んでいく意思があること。
- 4 学校訪問を希望している研修コースと学校の実施希望日程が合致すること。

## 8. 募集締切日:2024年3月15日(金)

## 9. 選考結果発出予定日:2024年3月29日(金)

お申込・お問い合わせ先

公益社団法人 青年海外協力協会(JICA業務委託先)

異文化交流プログラム担当 宛

〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4-25

JICA北海道(札幌)内

TEL:011-866-1515 FAX:011-866-1516

**E-mail: hokkaido@joca.or.jp**